

# 灼

ともしび



つた。

わが日田市は5月、川開き観光祭でにぎわった。今でこそ花火大会が好評だが戦前は招魂祭といわれ花火はなく、今日の芸能隊での市中練り歩き」が中心だったようだ。招魂祭も当初は、

戊辰戦争などの戦

没者を慰霊するも

のであったが、次

第にお祭りに変

化したとのこと。

かつてその招魂

祭に祖母の生家日

本丸菓舗が芸能隊を出したよう

だ。豆田町のランドマーク、草

野家住宅のなまこ壁を背景にし

た1935（昭和10）年の記念

写真が先般見つかった。わが家

は建築の史料が少なく、通りに

面した角が本来なら直角のは

ずのところ、無理に？斜めに切

られているのが大いに疑問だ

だがその写真をよく見ると、

わが家の角が斜めに切られる前

と判明。46（昭和21）年の写真

では斜めに切られているので昭

和10、20年の改修と確認でき

る。戦時中のことなので恐らく

は軍用車などを通りやすくする

ために角を落としたと推測さ

れ、思いがけず建築

の歴史の一端を知る

ことができた。

今年の観光祭には

高校時の仲間7人が

東京から日田入り。

花火大会は各地で開

催されておりさほど珍しくはな

い。しかし屋形船を貸し切り、

間近での花火見物は皆初体験。

加えて日田盆地ならではの腹に

響き渡る音には感動の一言。5

月としては格段に暑い日だった

ので、船上で受ける川風は真に

心地良かった。

（昭和学園高校理事長・日田市）

## 祭光観き開川



草野 義輔